加藤久仁生展

かとうくにお

静かに温かい、ひとかけらの物語。

アカデミー賞短編アニメーション賞®受賞

「つみきのいえ」。

受賞後第1作、「情景」、初公開。



2013 7.13㊏—9.1㊐

伊丹市立美術館・伊丹市立工芸センター

開館時間／10:00—18:00（入館は17:30まで）　休館日／月曜日（7月15日は開館、翌16日は休館）

観覧料／一般800（700）円、大高生450（350）円、中小生150（100）円

※（　）内は20名以上の団体割引　※兵庫県内の小中学生はコロンカード、クローバーカード呈示にて無料　※4市1町（伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町）の高齢者割引有（平日60歳以上、土日祝65歳以上）

主催／伊丹市立美術館・伊丹市立工芸センター［公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市］、朝日新聞社　共催／伊丹市教育委員会　企画協力／ロボット　協力／白泉社

後援／日本アニメーション協会

絵本「つみきのいえ」原画（部分）　2008年

絵本「つみきのいえ」スケッチ　2008年



アニメーション「つみきのいえ」スケッチ　2008年



加藤久仁生展



アニメーション「つみきのいえ」絵コンテ
2008年



アニメーション「或る旅人の日記　赤い実」　2004年



連載「あとがき」原画　2011年

2009年に「つみきのいえ」で
日本人初の米国アカデミー短編アニメーション賞を獲得した加藤久仁生。加藤は大学在学中から自主制作で頭角を現し、その比類ない描写力と世界観が注目を集めてきました。約1年間を費やした「つみきのいえ」では、静けさの漂う映像に心温まるストーリーが展開され、世界各地で大きな喝采を浴びました。初の本格的な個展となる本展では、ロボット入社後に制作した「或る旅人の日記」のほか、「つみきのいえ」のスケッチや絵コンテ、アニメーション、そしてベストセラー絵本『つみきのいえ』の原画などを展示。さらに本展のために制作した短編アニメーション「情景」も披露、展示ディスプレイにはデザイナーの小泉誠氏が一部構成するなど、新進気鋭のアニメーション作家・加藤久仁生が時間と記憶によって紡ぎだす、温かい色彩と線描の、儚くも美しい世界をお楽しみいただきます。



アニメーション「つみきのいえ」　2008年　©ROBOT

加藤久仁生（かとう・くにお）

1977年鹿児島生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後、2001年に（株）ロボットに入社。アニメーション作家を集めた同社ケージに所属し、テレビ番組、Webアニメーションなどを手がける。主なアニメーション作品に「The Apple Incident」「或る旅人の日記」「つみきのいえ」など。「つみきのいえ」で米国アカデミー賞短編アニメーション賞、アヌシー国際アニメーション映画祭アヌシー・クリスタル賞、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞ほか多数受賞。著書に絵本『つみきのいえ』『あとがき』（白泉社）。

アーティスト・トーク：加藤久仁生

加藤久仁生と一緒に展覧会場を巡ります。
日時：7月13日（土）
①11:00から1時間程度
②14:00から1時間程度
場所：本展会場内（当日1階ロビーにお集りください）
※聴講無料、申込不要（ただし当日観覧券が必要です）

特別コーナー「情景のアルバム」

あなたの「情景」を描いてみませんか？
1枚の紙に描かれたみなさんの「情景」を会場内に展示いたします。
日時：会期中の開館時間内
場所：本展会場内
※自由参加（ただし当日観覧券が必要です）

お問い合わせ
伊丹市立美術館
〒664-0895
兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20
Tel. 072-772-7447
http://www.artmuseum-itami.jp

交通のご案内
・阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分
・JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分
・阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分
※専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場（有料）をご利用ください

